

## ロンタイ株式会社

<http://www.rontai.co.jp>



開発課 山田廉 [develop@rontai.co.jp](mailto:develop@rontai.co.jp)

### 1. 現在

弊社は現在、周辺植物の自然侵入を促進する植生ネット、「ロンネット風来坊」を製造販売することにより、風散布種子の定着による生態系指向の緑化にチャレンジしています。

また、間伐材のリユース、リサイクルにおいては、植生マットの「森のタロー」によって達成できると考えています。

スギなどの針葉樹は、そのままでは発芽抑制物質があるため緑化には使えませんでした。加工した間伐材を使用することで解決しました。

### 2. 過去

高度成長期初期、土付きの生芝は、緑化工事において供給面で問題があり、かつ日本の農地土壌の収奪につながると考えられ弊社は、人工筋芝の「ロンタイ」からスタートし、1965年には、盛土緑化にロンタイ（中部建設新聞）は業界の常識になったと自負しています。

1976年（昭和51年）道路緑化技術基準が制定された直後、弊社・中川太郎は、カタログに次のように書いています。

私たちは戦後、「豊かさ」の代償に多くの「緑」を失いました。現在思うと、あまりにも大きい代償だったかも知れませんが、手遅れというほどではありません。一朝一夕には取り戻せなくても、私たちの次の世代、さらにはその次の世代へのために、いま、確固たる「緑の復権」の思想と行動を着実に築きあげることが大切だと考えます。

エコプロダクツ 1999 においては、自然還元型人工張芝の「ロンケット デ アグリーン」と土壌微生物・根粒菌を培養・濃縮した「ロンリウム」を出展し、人々への緑化工技術の普及に努めました。

### 3. 未来

今後は、一層生態系指向の緑化が重視されることでしょう。植物の知識、植生調査、土壌微生物を含む土壌環境の研究、順応管理に適応した製品開発などなど取り組むべき課題は、山のようなものです。

しかしながら、ロンタイに伝わる「緑の復権」思想は、課題を必ず達成すると考えます。

### 会社概要と連絡先

商号	ロンタイ株式会社
所在地	〒570-0011 大阪府守口市金田町3丁目1番11号
代表電話番号	06-6902-9401
設立	1957年
代表者	代表取締役 中川太郎
資本金	6300万円
事業内容	土木用緑化資材の製造販売および緑化工事

